



北のシュプール

第504号

発行 北海道勤労者スキー協議会機関紙部 編集責任者 金濱 茂
 札幌市白石区平和通3丁目北 3-13-202 tel&fax:011-784-3272 郵便振替 02700-7-48231
 ホームページ: <http://www.wsah.info/> e-mail: wsaj.hokkaido@gmail.com

第5回道理事会開催される 第24回総会に向けた議案を討議

道スキー協理事長 三浦 裕子



6月1日(日)、札幌市の高等学校教職員センターに於いて、第23期第5回道理事会が開催されました。会議には、常任理事10名、理事14名の他、島崎会長、立岡、武田両副会長も参加され(このうちZoom参加が12名)、総勢27名が参加しました。

今理事会は、7月に行われる第24回総会に向け、常任理事会が提案した今シーズンの報告と2026・27年度の2年間の活動方針案の草案についての討議が主な役割でした。

島崎会長は冒頭の挨拶で、「現在、物価高でスポーツをするにおいても大変な状況である。スポーツ連盟はスポーツは平和とともに掲げて活動している。日常生活の平和や安全も大事。皆が健康でいつでもどこでもスポーツを楽しめる世の中でありたいと願う。スキー協のスローガンである早く、安く、安全にスキーを楽しむために、回数もたくさん行くためにはどうしたらいいか、皆で確認しながら議論を進めて行ければと思う」と述べられました。

議案では、18クラブから提出された「2025年度を振り返って」のアンケート回答に基づき、組織部で集約したクラブ活動内容において会員減に歯止めがかかったこと、2023年からの組織拡大目標に対する現在の組織状況、常設スキー学校をはじめとする各種行事、指導員の登録・研修や検定、傷害事故調査、スポーツ連盟の活動内容など1年間の取組み内容の報告がされ、方針案では、組織拡大のためにクラブで引き続き総合的な活動に取り組むこと、毎年恒例の行事に加えて、3年目となる全国デモ選の開催などが提案として揚げられました。

討議の主な内容としては、各種行事では安全なスキーを第一に考慮し開催することを確認、2026年12月に迎える創立45周年に向けた企画や外部への宣伝ポスター掲示などの活動を行うこと。組織拡大については会員の意見

交換の場を設けることの必要性、新入会員に対するクラブでの取り組み内容の報告、全国行事参加で各地との交流を深める、シーハイルの個人情報に対する意見など、これからの道スキー協の発展・維持継続に対する建設的な意見が多く、理事会終了後の常任理事会ではそれらの意見を踏まえた議案の補強や修正を行いました。

7月の総会成功に向けて、クラブでは代議員の登録をお願いいたします。また組織拡大に向けた取り組み内容や前進のための活発な発言をお願いいたします。

Zoom併設のハイブリット会議もだんだんと操作にも慣れてきました。理事会参加の皆さんのご協力にも感謝いたします。



札幌藻岩山スキー場クリーン活動(環境美化活動)

道スキー学校部長 石川 芳昭



5月31日(土) 藻岩山清掃(藻岩山が531mだからだそうです)がありました。今回は、藻岩山の開発を「北海道エネルギー」の子会社である「北海道スクエア」がすることになり、このイベントも「りんゆう観光」に代わって取り仕切る形で行われました。道スキー協としては、毎年、常設スキー学校でお世話になっている関係から、私が窓口になってメーリングリストで協力を呼びかけ、集約しました。その結果、ナイスミドルフレンドから3人、札幌スキーフレンドから3人、スカディから2人、ぎやろっぷから2人の10名が参加しました。北海道エネルギーのジャケットを着た方(スタッフ)30名くらいを含め、朝の段階で200名くらいの参加者がいました。駐車場は満車状態で、山登りにきた方もびっくりにして、「今日、何かイベントあるんですか」と駐車係の人に聞いていました。受付のテントがあり、そこで抽選券と

火バサミとゴミ袋をもらい、「各自ゴミ拾いに行ってください」ということでした。私たちは、9時からという案内をしていましたので、全員が集まってから全体写真を撮り、「クリスタルコース」へ行くグループと「うさぎ平コース」へ行くグループに分かれ、出発しました。人数が多いのとスキーヤーのマナーの良さもあってか、ゴミらしいゴミはあまりなく、私はリフト下を中心に山を登りました。ゴミ拾いは第一の目的ですが、山菜もあるわけでウドやフキ、ワラビなどをたくさん採ってきた方もいました。1時間から1時間半で山を下りてきたら、受付のテントのところでガラガラをまわして、抽選会がありました。白い球は参加賞で、800円のお食事券が当たりました。キッチンカーが3台出ていて、マグロステーキ丼をゲットしました。唐揚げ丼や焼きそばもありました。札幌スキーフレンドの



山崎さんは3等賞で「リフト3時間券」をゲットしました。4人掛けのテーブルが20個ほど出ていたので、私は早速ご馳走になりました。とても、おいしかったです。この日は、札幌でも江別でも多くの学校で運動会が行われていましたが、曇り時々晴れという天気模様で運動会もゴミ拾いも雨に降られず良かったです。でも、山登りは日ごろ運動不足の私にとっては息が切れましたし、汗だくでした。長靴を履いてきて良かったことと杖を持ってくれば良かったと思いました。私たちが食事をしている時も、これから参加する人もいたようで、14時まで

イベントは続いていたようですが、私たちは、昼過ぎには各自散会しました。ご苦労様でした。

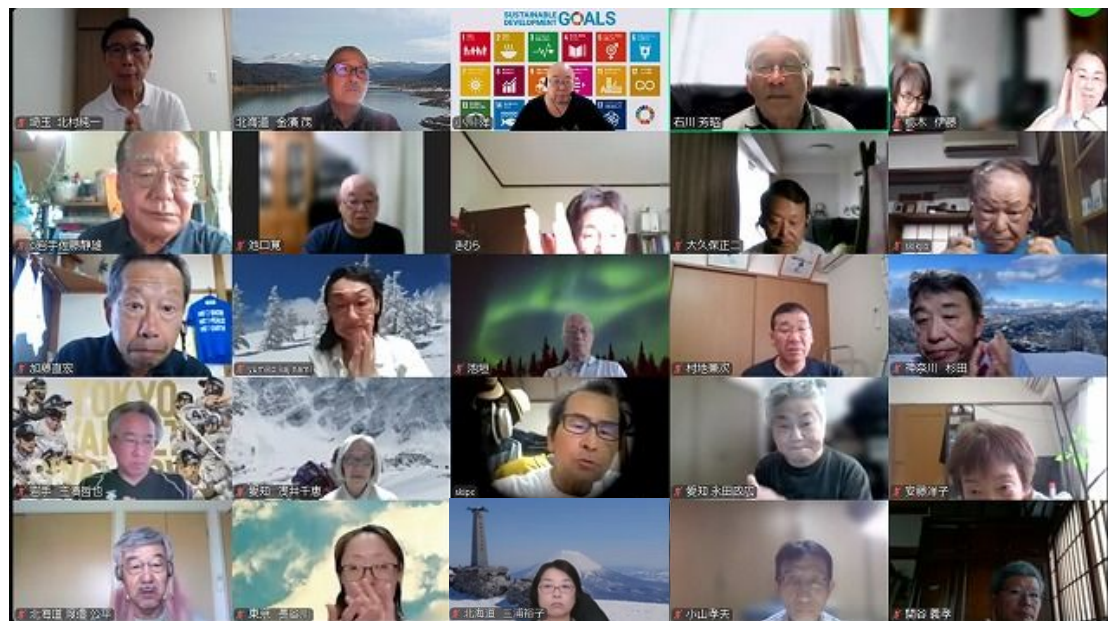
全国勤労者スキー協議会第34回総会開催される ～石川副理事長が議長で尽力！～

全国常任理事 三浦 裕子

6月8日(日) 全国スキー協第34回定期総会がオンライン会議で開催され、冒頭には和田会長の呼びかけで今年2月に逝去された栗岩前会長への黙祷を行い、開会されました。

北海道から代議員として、石川副理事長、金浜事務局長、渡邊公平理事と私の4名が出席しました。代議員定数87名中53名と委任状7名の計60名の参加がありました。

議長の大役に石川副理事長が選出され、活動報告と次期方針案、会計決算と次年度予算案、各地の組織アンケートに基づいて主な取り組み内容などがそれぞれの部から報告・提案され、円滑な進行に尽力されました。



主な内容として、組織部からは「1シーズンで各クラブが会員1名増を目標にして、一つ一つの行事を成功させながら、それには参加しやすい工夫をして増やそう!」
「全国には133クラブが在籍している。情報交換やクラブ間のパイプを深めるために、組織担当者会議を定

期的にzoomを利用し開催し、前進に繋げたい」また「2026年には全国サマーセミナーが関越ブロックで開催（2028年関東B、2030年東海Bの順）、スポーツ連盟に制作を依頼した全国スキー協ホームページは60%くらいリニューアルが完了しシーズンインまでには完成を目指したい」と報告や提案がありました。

各地の代議員からの主な発言内容は、愛知では「スノーフェスタで173名の過去最高の参加があり、山スキー愛好者がスノーシューで楽しみたいと山スキークラブの会員が多く参加してくれたことが要因である」栃木では「県主催行事に他県にも声かけをして参加者増に繋げた」静岡では「ファミリーに対しての参加費を安くした」など行事成功に繋げた報告がありました。

全国への要望として、「全国通信の一般会員へ向けた内容の掲載、外部への宣伝としてYouTube動画や過去にもあった名刺サイズのリーフレットの作製、地球温暖化STOP!に向け小型水流・過流発電という発電事業の起業呼びかけ、中途障がい者の会費の減額や雪道に対する安全運転や必要な装備品の周知」などがあり、今後の検討課題となりました。

会議は13時から17時過ぎまで予定時間をオーバーして討議を行い、議案提案に対する特段の相違意見はなかったため、一括での採決を行い無事に総会終了となりました。

今総会は、役員改選の重要な役割を担っており、グーグルフォームを利用した選挙では、和田会長、荻原副会長、理事31名、会計監査2名が信任され、その後の第1回理事会で、引き続き小川洋理事長、伊藤みどり事務局長が再任となり、北海道は引き続き私が全国常任理事を担当します。4部員として、渡邊公平さんと五十嵐佳葉さんが全国技術部員として、また、競技部員は大野祥子さん、山スキー部員は山本宏幸さんを推薦しましたので（ボード部員は保留）、任期期間の2027年5月まで、全国とのパイプ役、それぞれの部門でご尽力されることを期待して、報告いたします。

全国勤労者スキー協議会総会に参加して

大平原スキークラブ 渡邊 公平代議員

6月8日（日）13:00より、オンライン開催された全国スキー協34回定期総会に初めて代議員として参加しました。

各県を代表して出席している60名の会議でしたが、各都道府県の事情はいろいろとあるものの、各地区ともクラブの活性化、会員拡大をテーマに苦労しながらも工夫をしつつ頑張って活動している様子を聞くことができました。北海道も頑張っている地区ですが、さらに元気に活発に動くことで楽しいスキー協を対外的にアピールしていくことが必要だな、と感じた会議でした。

お知らせです

第22回夏季クラブ交流会 in ぴっぷ

- ・ 9月6・7日（土・日）、良佳プラザ 遊湯ぴっぷに宿泊
- ・ 参加者の協力と地元ゆきうさぎの支援で開催します。
- ・ 参加費 16,000 円位の予定

遊湯ぴっぷ



ゆったりのんびり

自然豊かなぴっぷの大地に、おしゃれで近代的な建物、遊湯（ゆうゆ〜）ぴっぷ。旭川市中心部から車で約30分、比布北インターチェンジから5分ほどで到着します。和・洋全25室を備えた温浴・宿泊施設。おいしい料理でお客様をもてなします。宴会でのご利用も大々歓迎です。

比布町北7線16号

☎ 0166-85-4700

夏季クラブ交流会 コースと内容

① 当麻鍾乳洞・鍾乳洞グリーンパーク

※パピヨンシャトー・（往復3時間）当麻鍾乳洞～ 昭和32年、石灰石の発掘中に

発見された鍾乳洞です。グリーンパーク～当麻鍾乳洞を中心に広がる自然公園。距離600m余りの気軽なミニ登山コースや森林浴コースが設けられています。パピヨンシャトー～当麻山には自然と楽しめる観光施設がいっぱい！パピヨンシャトーには世界中の昆虫標本を展示しています。中には希少な昆虫も！生態観察室では元気に生息する昆虫に触れることができます。日本で見ることできかない海外の昆虫も見学できます。

② 絵本の館・アルパカ牧場（往復3時間）

絵本の館～楕円型の館内はぐるりと一周できる構造。靴を脱いで入館していただくので、地べたに座ったり寝そべったりと、おうちにいるような感覚でゆっくりくつろげます。「えほんのへや」には、背の低い本棚いっぱい、さまざまな絵本が置かれています。アルパカ牧場～アクティビティ、エアボード体験、山頂ドライブ、バギー

③ 塩狩峠記念館・塩狩駅・夫婦岩・クイーンズガーデン（往復3時間分）

作家三浦綾子さん旧宅を復元し、小説「氷点」執筆の部屋や小説・映画「塩狩峠」に関する資料などを展示しています。※塩狩駅・和寒町市街地から南に8kmほど離れた場所にある塩狩峠の塩狩駅。※夫婦岩・市街地から南西約9km、標高333mの山の頂上にある夫婦岩は、明治36年に発見されました。※クイーンズガーデン・クイーンズガーデンは北海道和寒町にある白樺とレンガ造りが印象的なプライベートガーデンです。

④ 羊と雲の丘 綿羊館（往復3時間）

士別市の観光牧場「羊と雲の丘」にある羊と触れ合える施設です。世界各国の珍しい羊たちを見ることが出来ます。国内ではここでしか見られない羊もいます。

⑤ パークゴルフ グリーンパーク比布パークゴルフ場 全36ホール

⑥ サイクリング 比布町内の町道、田園地帯をサイクリングはいかがですか？

⑦ ゴルフ 旭川国際カントリークラブ（愛別） コート旭川カントリークラブ（東川）

⑧ グリーンパーク比布キャンプ場で焼肉

⑨ 男山酒造資料館（往復3時間） 伏流水も無料で汲むことができます。